

エランコビジネスパートナー行動規範

(2023年11月改訂)

目次

誠実な業務実施

公正な雇用慣行に従う

健康的な職場の提供と環境保護

プライバシーを尊重し、情報を保護する

承認された販促物を使用し、動物福祉を守る

実施への期待

懸念事項の提起の仕方

Elanco Animal Health およびその関係会社(以下「エランコ」または「当社」)は、誠実に事業を行い、すべての法的要件および倫理基準を遵守する一方で、動物のケアを推進し、動物の健康状態を改善する取り組みを支援することを約束します。米国で株式を公開するグローバルなアニマルヘルス企業であるエランコは、法律や規則が複雑に取り巻く環境で事業を展開しています。エランコに代わって業務を行う当社のサプライヤーおよびその他の第三者(総称して「ビジネスパートナー」)は、合法的、倫理的に行動し、本ビジネスパートナー行動規範を遵守する責任を共有します。この責任には、国際的に認められた人権と環境への明確な取り組みが含まれます。

本規範は、エランコの高い誠実性基準、人権や環境基準に関する最も重要な国際基準や規制(例えば、OECD の指導原則や、サプライチェーンにおける企業のデューデリジェンス義務に関するドイツ法(「LkSG」、連邦法官報[BGBI]第1部第24号、2959頁等)などの各国固有の法律)に基づいています。本規範は、エランコがビジネスパートナーに期待することを定めたものであり、エランコおよびビジネスパートナーが本規範を実施することによってのみ効力を発揮します。

エランコは、自らの活動の持続可能性に高い優先順位を置いています。サプライチェーンの中で、エランコは自らの社会的、生態学的、倫理的責任を果たすために重要な貢献をしています。私たちは常に、持続可能性の観点から企業活動と製品の最適化に努め、ビジネスパートナーにもこのアプローチに貢献するよう求めています。

本ビジネスパートナー行動規範に詳述されている原則は、ビジネスパートナーの選定と評価における重要な要素です。エランコは、エランコの倫理基準に合致し、倫理的な事業運営、人権、環境保護、その他のテーマに関して協力し、継続的な改善をもたらすビジネスパートナーとの協働を求めています。

ビジネスパートナーは、自社の社員に本規範を周知し、遵守を徹底する責任を担います。また、ビジネスパートナーが自らのビジネスパートナーやその他の第三者にも同じ基準を課すことをエランコは期待しているため、本規範はビジネスパートナーの関係会社や下請業者にも適用されます。

本規範と適用法を遵守することが最低限の行動基準となります。

本規範が現地法と異なる場合、本規範の求める行為が現地法で禁止されていない限り、高いほうの基準の遵守に努めるものとします。さらに、ビジネスパートナーとの特定の契約には、本ビジネスパートナー行動規範に含まれるものと同じトピックのいくつかに対処する、より具体的な条項が含まれている場合があります。本規範のいかなる規定も、より具体的な契約規定に取って代わることを意図するものではありません。本規範とより具体的な契約規定との間に矛盾がある場合は、契約規定が適用されます。

エランコビジネスパートナー行動規範について不明点や懸念がある場合、貴社のエランコ取引担当者と連絡を取るか、当社の倫理・コンプライアンスチーム(Elanco_Ethics@Elanco.com)までお問い合わせください。

ビジネスパートナーへの期待

ビジネスパートナーは、本規範の期待事項およびビジネスパートナーの事業とサプライチェーンに適用される現地の強行法規を遵守するために、関連するリスクと適切な手段を特定し、必要なすべての措置を講じるものとしてします。

エランコは、製薬業界サプライチェーンイニシアチブ(PSCI)のメンバーです。PSCIは、責任あるサプライチェーンの慣行を定義し、確立し、促進するためにメンバーを集める非営利の業界団体です。本ビジネスパートナー行動規範は、PSCI原則を具体化したものであり、その主要分野である倫理、人権・労働、安全衛生、環境、および関連する管理システムを取り上げています。

誠実な業務実施

贈収賄防止および汚職防止

ビジネスパートナーは、米国海外腐敗行為防止法、英国贈収賄防止法、およびその他の地域、国、または国際的な贈収賄防止、汚職防止の法律と規制を遵守しなければなりません。ビジネスパートナーは、価値のあるものを申し出たり、提供したり、許可したり、受け取ったりすることで、別の関係者の意思決定に不適切な影響を与えたり、別の関係者の意思決定に不適切な影響を与えようとしているとの印象を与えたり、不当な利益を生み出したりしてはなりません。具体的には、汚職防止法、贈収賄防止法を遵守するため、ビジネスパートナーは以下の行為を禁止します。

- 政府職員または第三者に対し、直接的または間接的に、賄賂、キックバック、不正もしくは不適切な支払い、またはあらゆる種類の利益を申し出たり、支払ったり、約束したり、許可したりすること。
- 顧客または何らかの第三者から、賄賂、キックバック、またはあらゆる種類の不適切な支払いや利益の受領を要求したり、受け入れたり、同意したりすること。
- 政府の日常業務を遂行または促進するために、政府職員に直接または間接的な支払いを行ったり、支払いを申し出たりすること。

不適切な支払いや利益とは、現金、商品券、贈答品、旅行、接待を含むがこれらに限定されない、価値のあるあらゆるものを指します。

ボイコットと制裁

ビジネスパートナーは、米国が参加していない非米国ボイコットの受け入れや支持を示唆するような行動をとってはなりません。

またビジネスパートナーは、米国もしくはその他の政府によって貿易制裁または経済制裁が維持されている国、個人、または事業体(政府の制限、制裁、拒否、もしくは免責対象者リストに記載されている個人、グループ、または事業体を含む)とのエランコ関連の取引について、その取引が許容されるものかどうかをエランコの取引担当者にあらかじめ確認することなく、直接的または間接的に関与したり、関与することに同意したり、その他の方法で促進したり、支援したりしてはなりません。エランコの取引担当者は、取引が許容されるものかどうかを判断する際に、社内の法務または倫理・コンプライアンスサポートを参加させる必要があります。

利益相反

エランコの社員には、個人的な利益を考慮することなくビジネス上の意思決定を行う責任があり、当社の利益を妨げたり、当社の不利になったりするような(または妨げたり、不利になったりするように見えるような)活動を控えることが期待されています。したがって、ビジネスパートナーは、両社間のビジネスの過程で、エランコの社員を雇用しようとしたり、エランコの社員に支払いを行ったりするべきではありません。エランコの社員との親密な個人的または家族的な関係は、エランコの社員の意思決定に影響を与えようとする目的で利用してはならず、そのような関係はエランコの社員によって社内手続きを通じて開示されなければなりません。

公正な競争

ビジネスパートナーには、公正かつ誠実に競争することが求められます。ビジネス上の便宜のために誠実さについて妥協をしないでください。また、ビジネスパートナーには、適用されるすべての反トラスト法、独占禁止法、および公正競争法を遵守して事業を行うことが求められます。

贈答品、食事、接待、もてなし

エランコの社員が贈答品を受け取ることができる状況は限られており、販促品や生鮮食品などのわずかな価値しかない贈答品しか受け取ってはなりません。またエランコの社員は、実際に利益相反を生じさせない、または生じさせないと思われる適度で合理的なビジネス関連の食事、接待、もてなしのみを受け取ることができます。同様に、エランコの社員は、贈答品、食事、接待、もてなしを提供する際の制限も受けます。ビジネスパートナーは、これらの制限を尊重し、エランコの社員に対して、当社が設定した制限を超える贈答品、食事、接待、またはもてなしを提供しようとする、またはそれらを求めることを控える必要があります。同様に、エランコの代理としてビジネスを行うビジネスパートナーは、販促品や生鮮食品などのわずかな価値しかない贈答品以外の受領を避け、適度で合理的なビジネス関連の食事、接待、もてなしのみを提供し、受領するという同一の制限に従うものとします。

輸出入規制

ビジネスパートナーには、物品および技術を電子的または物理的に国外へ送る前に、これらを適切に分類および評価し、適用されるすべての輸出入の要件を満たしていることが期待されます。

事業および財務記録の完全性

ビジネスパートナーには、国際的に認められた会計基準および会計慣行を採用し、当社との、または当社の代理としての自社事業に関連するすべての取引を公正に反映する正確な帳簿、勘定、および記録を作成し、保管することが期待されています。これには、すべての経費と支払いの適切な記録が含まれます。ビジネスパートナーは、エランコやエランコの取引相手の記録における、誤った記載、誤解を招く記載、作為的な記載を行った、行わせたり、また、その修正や報告を怠ったりしてはなりません。

責任ある調達

紛争の影響を受けた地域やリスクの高い地域では、「紛争鉱物」として知られる特定の鉱物の採掘や取引が、強制労働を利用したり、その他の深刻な人権侵害や汚職を引き起こしたり、武装集団や犯罪集団の資金源となっています。エランコはビジネスパートナーに対し、責任を持って原材料を調達し、適切なデューデリジェンスを実施し、当社に提供される原材料が紛争地域で調達されたものでないこと、人権侵害、汚職、武装集団の資金源となっていないことを確認することを期待しています。

障害復旧および事業継続計画

サプライヤーは常時、ビジネスパートナーの義務の履行に必要なすべての重要な業務機能の継続的な運営、および中断時の復旧を保証する障害復旧および事業継続プログラム(「障害復旧および事業継続プログラム」)を維持し、適切に支援します。障害復旧および事業継続プログラムには、最低限、詳細な障害復旧計画

が含まれ、これには、管理方法、管理チーム、緊急連絡先、およびビジネスパートナーの業務を中断させる可能性のある潜在的リスクに対する具体的な計画を記載するものとします。計画は、一般に認められた業界標準を満たし、それに合致したものでなければなりません。要求に応じて、ビジネスパートナーは計画の写しと概要をエランコに提供します。

公正な雇用慣行に従う

差別の禁止

エランコは、ビジネスパートナーが社員に均等な機会、均等な待遇、均等な価値ある仕事に対する均等な賃金を提供することを期待しています。差別は許されるべきではありません。ビジネスパートナーは、人種、肌の色、年齢、妊娠、性別、性的指向または性自認、民族性、障がい、宗教、政治的所属、組合への加盟、婚姻状況、または事業を行っている管轄区域の法律で保護されているその他の相違点を理由に、社員に不利益を与えたり、嫌がらせをしたりしてはなりません。その代わりに、ビジネスパートナーは、法律で認められている場合には、選考プロセスにおいて多様性を重視するなど、包括的で協力的な職場環境を作るべきです。

公正な賃金と労働時間

ビジネスパートナーは、適用されるすべての賃金、時間外労働、福利厚生に関する法律を遵守することが求められます。報酬やその他の手当として、社員とその家族に妥当な最低生活水準を提供する必要があります。同様に、ビジネスパートナーは労働時間に関する法律を遵守し、十分な休憩時間を設けるなど、肉体的・精神的疲労を回避するための適切な措置を講じることが求められます。

結社の自由

ビジネスパートナーは、労働者が自由に結社する権利、労働組合や労働者評議会に加入または加入しない権利、団体協約を追求する権利を尊重しなければなりません。労働組合の設立、加入、組合員であることを、不当な差別や報復措置の理由として利用してはなりません。ビジネスパートナーは、労働組合が自由に、また雇用地で適用される法律を遵守して行動することを認めなければなりません。これにはストライキの権利と団体交渉の権利が含まれます。

違法な児童労働の禁止

エランコは違法な児童労働を容認しません。ビジネスパートナーは、すべての管轄区域において適用される最低年齢法および要件を遵守し、強制的または違法な児童労働の採用を控えなければなりません。

強制労働と虐待的労働慣行の禁止

エランコは、いかなる形態の強制労働（処罰、投獄、年季奉公、奴隷労働、または類似の慣行の下で提供される労働やサービスを含む）も、自社またはビジネスパートナーの労働力において使用せず、それらを受け入れません。

またビジネスパートナーは、職場において、いかなる形態の抑圧、極端な経済的・性的搾取、または屈辱もないことを保証するものとします。

個人の財産、パスポート、賃金、雇用証明書、その他の書類を不当に差し押さえるような行為は容認できません。体罰、身体的危害の脅迫、性的嫌がらせ、その他の形態の嫌がらせや脅迫は禁止されています。

健康的な職場の提供と環境保護

環境保護と土地収奪の禁止

ビジネスパートナーは、環境と人の健康を保護するための措置を講じ、現地で適用されるすべての環境法、規制、基準を遵守することが重要です。さらに、ビジネスパートナーには、環境への影響という観点から事業を見直し、環境への害を避けながら天然資源を可能な限り効率的に使用することを目的とした効果的なガイドラインと手順を確立することが期待されています。ビジネスパートナーは、不法な立ち退きや、土地、森林、水の不法な取得や開発を行い、個人の生計を奪ってはなりません。

職場の安全

ビジネスパートナーには、職場における健康保護と安全に関する地域の法定要件を遵守し、少なくとも職場の安全基準が適切であること、化学的、生物学的、物理的な危険を回避するための適切な保護措置が講じられていること、すべてのスタッフが安全に業務を遂行できるよう適切な訓練と指導を行うことが期待されています。生産工場やその他の機械類は、安全基準を遵守し、適切な保守点検を行わなければなりません。安全な職場には、衛生設備や清潔な飲料水へのアクセスも含まれます。

警備・保安サービスの安全な利用

ビジネスパートナーには、本ビジネスパートナー行動規範に定められた原則と、該当する場合には現地の規制を尊重し、責任を持って民間の警備・保安サービスまたは公的な警備・保安サービスを利用することが期待されています。ビジネスパートナーは、拷問や残虐的、非人道的、品位を傷つけるような扱い、生命や身体への傷害、結社の自由に対する権利の侵害を容認してはならず、これらのいずれをも回避できるよう警備・保安サービスが十分な訓練を受け、指導されていることを保証しなければなりません。

廃棄物と排出物

廃棄物、排ガス、廃水の生産、保管、処分、リサイクルに関連して、ビジネスパートナーは、現地の要求事項および法的規定の遵守を徹底しなければなりません。

要求に応じて、ビジネスパートナーは、スコープ 1、2、3 の GHG 排出量に関連するデータを収集・提供し、排出量および／または廃棄物削減イニシアチブおよび／または目標を共有し、潜在的な削減プログラムを特定するための協議に参加することにより、エランコと協力するものとします。

さらに、ビジネスパートナーには以下を遵守することが求められます。

- 1989年3月22日の「有害廃棄物の越境移動およびその処分の規制に関するバーゼル条約」(連邦法官報 1994年第II部、2703、2704頁)の最新版。
- 水銀添加製品の製造、製造工程における水銀および水銀化合物の使用、水銀廃棄物の処理の禁止について定めた2013年10月10日の水銀に関する水俣条約。
- 2001年5月23日付、および適宜改訂された残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約。
- 1989年3月22日付、および適宜更新・改訂された有害廃棄物の国境を越えた移動の規制に関するバーゼル条約。

人の健康や環境・気候に悪影響を及ぼす可能性のある活動は、適切に実施、測定、監視されなければなりません。可能であれば、廃棄物、排ガス、排出物の発生を最小限に抑えるべきです。ビジネスパートナーは、業務による環境への影響(廃棄物、水、汚染など)が発生した場合、48時間以内にエランコに通知するものとします。

プライバシーを尊重し、情報を保護する

サイバーセキュリティ

サプライヤーは、適切なサイバーセキュリティ対策およびシステムを導入し、その他サイバーセキュリティを維持するために合理的な努力を払い、サイバーセキュリティインシデントに効率的かつ効果的に対応できるよう適切な計画および手順を定め、サイバーセキュリティの取り決めに定期的に見直し、実際の適用を検証します。

秘密情報の保護

ビジネスパートナーは、預託されたすべての秘密情報を、紛失、盗難、誤用、不正アクセス、開示、改ざん、破壊から責任を持って保護しなければなりません。この義務は、情報がエランコの顧客、第三者、社員、消費者、その他いかなる個人のものであっても存在します。秘密情報には個人情報も含まれます。エランコに代わって個人情報を取り扱うビジネスパートナーは、個人情報を取り扱う前に、適用されるすべての規制要件を遵守し、エランコのセキュリティ基準を満たす必要があります。ビジネスパートナーには、個人情報の収集、管理、使用、保持、開示方法について透明性を確保することが求められます。

個人情報を含む当社またはその他の第三者の秘密情報へのアクセス権を誤って与えられたと判断した場合、ビジネスパートナーは直ちに当社の担当者にこれを通知し、それ以上の情報の配布を控えるものとします。同様に、契約上または法律上、情報を共有しない義務を負っている場合、ビジネスパートナーは、他社に関連するエランコの情報を誰とも共有すべきではありません。

ビジネスパートナーは、当社へのサービス提供または当社の代理として行動する過程で入手した秘密情報に基づいて、有価証券取引を行ったり、他人にそれを奨励したりしてはなりません。

承認された販促物を使用し、動物福祉を守る

製品情報

エランコ製品に関して提供する情報は、エランコが承認済みであり、承認済み製品ラベルと整合する情報のみとし、適切な対象者に対してメリットとリスクを正確かつ公正に偏りなく伝えるものとします。

販売促進資料

ビジネスパートナーは、エランコが承認した販売促進資料および教育資料のみを使用することができます。契約に定めのない限り、エランコ製品に関する販売促進資料や教育資料を改変または作成してはなりません。

動物福祉を守る

動物福祉に関する懸念は、直ちにエランコの Elanco_Ethics@elanco.com までご報告ください。ビジネスパートナーは、市販段階および研究段階において使用される動物の福祉を尊重および保護することで、動物のケアと使用に関する法的要件およびエランコの要件をすべて満たすものとします。

有害事象の報告

有害事象とは、エランコ製品の使用（適応外使用および適応内使用）後に現れた好ましくないか意図しないあらゆる所見を指し、その反応が製品に関連すると思われるかどうかは問いません。期待される有効性の欠如の疑いや、エランコ製品に触れた後に人体に現れた有害反応を含みます。ビジネスパートナーは、既知または

疑いのある有害事象や製品に関する苦情を直ちに(1 営業日以内に)1-800-428-4441 または 1-888-545-5973(米国内の場合)に電話で報告しなければなりません。米国以外の報告については、ビジネスパートナーは報告書提出のための適切な現地電話番号を提供することのできるエランコの取引担当者に、直ちに連絡してください。ご質問は電子メールで qppv_office@elancoah.com まで。

実施: エランコが期待すること

エランコは、ビジネスパートナーが本規範に違反する関連リスクを特定し、特定されたリスクを回避または軽減するための適切な措置を講じること、また契約において自社のビジネスパートナーにエランコビジネスパートナー行動規範を遵守する義務を課すことを期待しています。エランコは、ビジネスパートナーが、適切なトレーニングコースと無作為のテストにより、エランコビジネスパートナー行動規範の遵守を監視することを期待しています。

本規範を成功裏に実施する一環として、ビジネスパートナーは以下のことを行うものとします。

- エランコのために、またはエランコを代表して行われるあらゆるビジネスに関する正確かつ完全な記録を作成・維持し、本ビジネスパートナー行動規範の要件に準拠していることを証明すること。
- エランコが贈収賄防止法、汚職防止法を含むすべての適用法、および本ビジネスパートナー行動規範の遵守を確認できるようにするため、アンケートや監査による問い合わせへの回答を含め、情報の要求に応じるためにあらゆる合理的な努力を払い、要求された情報をエランコ、またはエランコが指名する独立した第三者に速やかに提供すること。
- 本ビジネスパートナー行動規範が対象とするあらゆる事項の違反の可能性に関する調査に誠実に協力すること。
- エランコが特定した問題を速やかに改善し、エランコが要求する措置を講じること。
- 自社のサプライチェーンにおいてエランコビジネスパートナー行動規範に抵触する可能性を認識した場合、エランコのビジネスパートナーに通知し、計画した改善策を提示すること。
- 本規範に基づく義務に関する研修を、定期的に、少なくとも年に一度、その研修が効果的であることを保証するのに十分な形式でスタッフに対して行い、エランコが合理的に要求する研修の証拠を提供すること。
- スタッフおよび下請業者に、非難されることなくエランコの秘密情報である Integrity Line に自由にアクセスすることを許可すること。
- 関係会社、下請業者、およびビジネスパートナーが契約するすべての第三者との契約に、これらの要求事項を遵守する義務を含めること。
- エランコ、その関係会社、下請業者、およびそれぞれの役員、取締役、社員、代理人を、エランコビジネスパートナー行動規範の要件違反に関連するすべての損失から免責し、防御し、損害を与えないようにすること。
- エランコまたはその第三者監査人が、合意された日時の通常の営業時間中に、合理的な事前の書面通知により、ビジネスパートナーおよびビジネスパートナーの下請業者の敷地内において、本行動規範の遵守状況を検査および監査することを許可すること。
- 本ビジネスパートナー行動規範の主題に関連する可能性のある政府または規制当局による施設、工程、または製品の審査、監査、もしくは検査について、直ちにエランコに通知すること。ビジネスパートナーは、かかる審査、監査、または検査の結果をエランコに提供するものとします。エランコ

は、かかる審査、監査、または検査に応じるにあたり、ビジネスパートナーに支援を提供する機会を与えられるものとします。

サプライヤーは、エランコが支払うすべての報酬が、誠実かつ独立した対等な関係の交渉を通じて決定されたものであり、請け負った業務の公正な市場価値を構成するものであることを認めるものとします。ビジネスパートナーは、エランコが支払うすべての報酬が、その慣習的な料金に合致していることを保証します。

ビジネスパートナーは以下に同意します。エランコビジネスパートナー行動規範の違反は、エランコとの契約の重大な違反とみなされること、およびエランコは、ビジネスパートナーがエランコの本ビジネスパートナー行動規範の規定に違反したと善意で判断した場合、本契約の解除を含め、法律上および衡平法上利用可能なあらゆる救済措置を直ちに求めることができること。

不正行為の可能性の報告

当社は、エランコの全社員、請負業者、顧客、ビジネスパートナー、その他の第三者に対し、法律、エランコの行動規範、および／または倫理・コンプライアンス方針および手順、または本ビジネスパートナー行動規範に対する違反が判明した場合、または違反が疑われる場合、報復を恐れずに速やかに「声を上げて」報告することを奨励しています。すべての情報を持っていなくても、または懸念が妥当かどうか確かでなくても、「声を上げる」ことで、エランコは時期を逃さずに状況に適切に対処することができます。

懸念事項の提起の仕方

ビジネスパートナーおよび第三者を含むいかなる人も、エランコの確立された報告チャネルである [IntegrityLine \(インテグリティライン\)](#) を通じて懸念事項を提起することができます。これは電話またはオンラインにより24時間365日利用可能です。IntegrityLineは、問題、懸念事項、またはエランコや当社の顧客を傷つける恐れがある行動を秘密裏に匿名で報告できる便利な手段です。

エランコは、最終的に違反の発生が判明したかどうかにかかわらず、既知または疑いのある違反を誠実に報告した人（つまり、違反が発生した可能性があるという合理的で誠実な信念を報告者が持っていた場合）に対するいかなる形態の報復も容認しません。同様に、エランコは、エランコの調査に参加する人に対するいかなる形態の報復も容認しません。



[自国の電話番号はこちらでご確認ください](#)



Elanco_Ethics@elancoah.com